

## レナード彗星がやってきた

48年前のデジャヴ

2021年1月にレモン山サーベイにより発見されたレナード彗星(2021A1)は、近日点距離が0.62AUと小さく、年末にかけて明るくなることがアナウンスされていました。しかし、その後夏を過ぎて新しい情報がなく、いったいどうなったのだろうと思い始めた頃、11月にはいって、にわかにソーシャルメディアの投稿が賑わい始め、期待に違わぬ彗星になってきていることが伝わってきました。

11月末の時点で彗星の明るさは5等級代に達していて、近日点に近づきながらさらに明るくなっていくことが期待されました。ただ、改めてステラナビで調べてみると、この頃の彗星は明け方の東の空高くにあるものの日を追うごとに太陽に近づきながら高度を下げていくため、見るのが難しくなってゆき、また、太陽と合になって夕空に回ってからは、日没時の高度が非常に低い(10°以下)ため、いっそう観察は難しそうに思われました。

なにはともあれ、1回は見ておきたいし、「記念写真」も撮っておきたいので、そうなる、早いうちに明け方の天候の良い日を狙って一発勝負をするしかないと考えて、毎日毎日天気予報を見ながらチャンスを待ちました。世間的には、12月3日のM3との接近がハイライトでしたが、その日は天候に恵まれず、6日後の12月9日になって天候が安定し、「絶対大丈夫！」という日が巡ってきたところで朝4時に起き出して出勤しました。

因みに、当地は東方向に街があるので光害のため淡い彗星を撮るには難があり、明け方の彗星はいつも撮影場所には迷います。遠出をすることを考えたものの、結局、移動時間も考え、近くで見晴らしの良いいつもの天白遺跡での撮影になりました。

さて、当日の彗星の高度は、日出1時間前で30度となっていて、撮影可能時間は1時間余と、もうぎりぎりのタイミングでした。また、日頃撮影をさぼっているのが祟って、彗星の導入に四苦八苦したりで、ようようワンショットだけ撮影す

ることができ、またその合間に双眼鏡でも観察することができたので、まずは、ここでノルマ達成となりました。



12月9日・(Pentax100SDUF NikonD5100)

その後彗星は太陽と地球の間を通過して夕空に回っていきました。これからは、地球から遠ざかりながら西の地平線を徐々に高度を下げながら南に移動していきます。

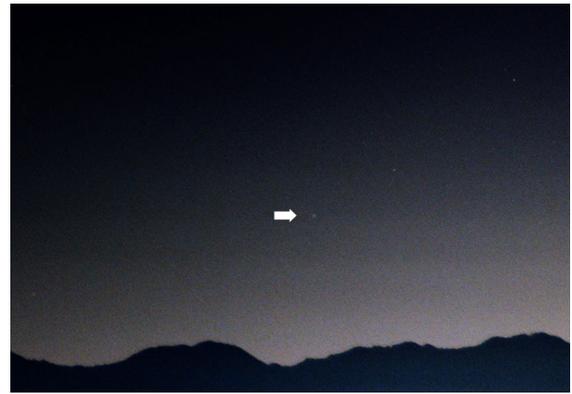
当地は、冬になると西側から雲が湧きだしてることが多いので、当初は西空にまわった彗星を見るのは難しいのではと思っていました。しかし、今年に限ってはやたらと透明度が高いうえに雲の少ない日が続き、また、年末年始ということもあって休みが多く条件的には恵まれています。そんな訳で、まずは自宅ベランダから適当に固定撮影してみたところ、これは案外狙えるのではないかとこの感覚をもちました。

そこで翌日は日没時に近場の河川敷に出かけて行って撮影をしたところ、先頃に撮影したときより太陽に近づいているせいか、ダストテイルも発達してなかなか立派な彗星の姿になってきており、ますます目が離せなくなりました。その後も晴れると西空の方向が気になって、追いかけて続け、結局、最後は1月8日まで彗星の姿を追いかけることができました。

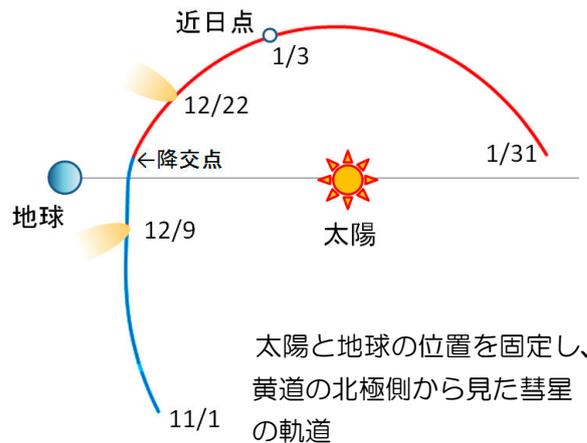
ともあれ、今回のレナード彗星は、予想に反して長丁場で楽しめる彗星になって、ネオワイズ以来の楽しいイベントになりました。



12月22日・(Pentax100SDUF NikonD5100)



1月8日・最終確認日(105mm NikonD5100)



## 新版 未知の星を求めて 関 勉

彗星界のレジェンド関勉氏による「未知の星を求めて」の新刊が、高知新聞社から刊行されました。この本はもともと同社の新聞にコラムとして掲載された記事がもとになって書籍として再編集された1963年の同名の書籍を改訂した内容になっているとのことです。

我が家には河出書房新社が発行(1973年)した同名の本とその続編の「夜空にかかる虹」があるのですが、新刊となるとどうしても気になって買ってしまいました。既刊の2つの本と比べると、多くの関連エピソードが間引かれていたりしてちょっと直球的な感じがしましたが、なにはともあれ永遠の名著であります。



## 雑記帳

この年末から年始にかけての夕空には木星と金星が明るく輝いていました。木星は12年で太陽を一周し、金星は8年ごとに同じ位置関係に戻ってきます。それぞれの2つの周期の公倍数の48年前は、期しくも、コホーテク彗星が地球に近づき、年始にかけて西空に現れた年でした。

レナード彗星の撮影をしながら、48年前に夜空の木星と金星を目印にして、コホーテク彗星を撮影していた昔のことを思い出しました。

Kz\_Wada 和田一人 [Kazuto.wada@nifty.com](mailto:Kazuto.wada@nifty.com)